

東大生、北海道浜頓別町で交流を通して地域再生へ挑む

環境三四郎は、2009年夏に北海道浜頓別町で大学生と高校生の「交流」を軸とした地域活性化のためのイベントを行います。

環境三四郎は、環境問題の解決を目指して活動する東京大学の学生・卒業生を中心とした団体です (<http://www.sanshiro.ne.jp/>)。私たちは大学の講義の企画・運営協力、様々な調査活動、キャンパス内外での提案・実践活動など、環境問題解決に向けて16年間活動を行ってきました。



そして、豊かな自然環境を有する北海道浜頓別町において、新たな試みを始めます。それは、次世代を担う高校生が、都会の大学に通う大学生との交流により、自らの町の自然環境や産業の独自性を知り、自然環境と調和した町づくりを考えていくきっかけを提供することを目指すものです。

『地方の危機』が叫ばれる中、日本全国で地方・地域に対する関心が高まっています。浜頓別町でも他の町と同様に人口流失・少子高齢化がすすんでいます。そのような中、プロジェクトリーダー巻島(東大2年)は2008年の夏に訪れた浜頓別町の豊かな自然環境に魅了され、町が目指す「豊かな自然環境を活かしたまちづくり」に共感しました。「町民のためのまちづくり」を実現するきっかけを作るために、彼の呼びかけで環境三四郎の学生10名が集まり、企画・運営を行っています。

現地に赴き、自然環境の保全を目的としたNPO法人クッチャロ湖エコワーカーズや町の青年団体と協議を重ねています。『高校生との交流』による環境教育を切り口として、2009年夏に町の高校生・住民と東京から来た大学生との5日間にわたる交流事業を実施します。

月に1回程度、メンバーは浜頓別町を訪れ、町の高校生と交流しながらイベントの準備を進めています。

この件に関するお問い合わせ先

環境三四郎 小川拓哉(東大修士1年)までお願いいたします。

〒113-8654 文京区本郷7-3-1 東京大学 第二食堂

E-mail: info@sanshiro.ne.jp

企画の詳細は <http://www.sanshiro.ne.jp/hamaton/> にもUPされております。